

上野公園グランドデザイン（中間のまとめ）に対する都民意見の概要

●都民意見の募集の概要

平成 20 年 3 月 28 日から 4 月 18 日まで、広報東京都等による周知を通じて「中間のまとめ」に対する都民意見の募集を行い、郵送、ファックス、電子メールにより 32 人 113 件のご意見をいただきました。また、平成 20 年 5 月 14 日から同年 5 月 26 日まで、インターネット都政モニターを利用した意見募集を行い、461 人 1,807 件のご意見をいただきました。

●主な意見の概要

上野公園グランドデザインのねらい

検討のねらいについて

- ・ 上野公園が変わるということが世の中に認知されることが重要である。
- ・ 日本を代表とする「文化の森」構想は、10 年以上かかっても実現させて欲しい。本来、「グランドデザイン」は、長期的構想として捕らえるべきで、10 年間では短い。腰を据えた取り組みが必要である。
- ・ 10 年後も良いのですが、まずできることから始めること。地道な努力がさらいよい街への一歩である。
- ・ この将来像は、この先「10 年」とのことであるが、10 年ではとても短過ぎる。付け焼き刃とならないためにも、少なくとも 50 年、100 年先で検討すべきである。
- ・ 民官問わず、横断的な協力のもと、街全体としての「グランドデザイン」の実行が必要である。様々な利権が絡み、厳しいと思うが、一人一人の意識改革と同時に、全体をまとめ上げる絶対的なリーダーの存在が大切である。
- ・ これだけ大きな規模のものを管理運営、保守等を別々に運営しては、時間と経費が膨大なものになるので、これを一元的に行う機関が必要である。

上野公園の魅力

上野公園の魅力について

- ・ 上野公園は沢山の人が集う、集える空間としての魅力を持っている。
- ・ 日本人が当たり前で気づかない日本・上野の魅力を埋もれさせずにより良く活用できたら素晴らしい。
- ・ 魅力的な施設はたくさんあるが、一貫性がなく、雑然とした感じがする。もう少しまとまりがあり、清潔な公園となると良い。
- ・ 美術館、博物館、不忍池、桜など上野公園には様々な魅力があるにも関わらず、現時点ではそれぞれが独立していて、総合的な公園の魅力向上には寄与していないように感じる。
- ・ 上野公園の魅力は年齢に関係なく、文化に触れるインターフェイスが多角的にあることである。森の中で何か楽しいことが見つければ、いくつになってもこんなにうれしいことはない。
- ・ 花を愛でる時、緑に囲まれている時、人の心はやわらかく開いているのではないかと思う。そんなときに音楽や芸術に触れられたら素敵である。上野公園はそのように心満たされる公園であって欲しい。
- ・ 上野公園は、博物館、美術館、動物園に公園が一カ所に集中しており、幅広い年齢層が、現在でも

1年間に何度も行きたくなるような大変魅力的な場所である。

- ・ 文化・芸術が集結していると言う点では、他の追随を許さない数と誇っているので、ここにフォーカスするのはとても素晴らしいことである。
- ・ 現在の上野公園は、作りすぎた人工的な公園のようで、万博会場やテーマパークの中を歩いているような印象を受け、魅力がない。
- ・ 現行の上野公園は限られた面積に何でも詰め込もうとしているかのように見える。幕の内弁当のようである。
- ・ 上野の魅力は、池の場所から上野の山をみた空の青さ広さが一番である。

上野公園の将来像

将来像

- ・ 上野公園全体が海外にも開かれた文化の発信拠点になればと思う。
- ・ 上野公園の将来を、世界中から来訪者を迎え入れ、多くの人々が交流し、絶えずにぎわう「文化の森」として創造するという全体的な方向性については大賛成である。
- ・ 時代の要請を受け止めて”柔軟に変えていくべきもの”(あるいは、変化を許容するもの)と、”あえて変えないでおくべきもの”の両方の視点が必要である。
- ・ 昔から庶民に親しまれた公園なので、その風情は失わないようにして欲しい。
- ・ これまで各文化施設は独自の考えで建設され受け継がれてきたが、今それを一つの上野公園として捉え、日本の顔となる「文化の森」として創造することは、画期的なことである。
- ・ 人工的ではない自然と、重厚な歴史と、英知を感じる文化施設が一体となった上野公園の魅力を発信できるようにして欲しい。
- ・ 安心して楽しく過ごせるということが大切だと思う。
- ・ 「上野」と言えば、多くの美術館、博物館があり、人々の間では<文化・芸術の街>というイメージが既に確立されつつあるので、「日本の顔となる「文化の森」の創造」という上野公園の将来像は適切である。
- ・ 検討会での将来像について素晴らしい内容だと思う。是非とも早い時期に実現できる事を希望する。
- ・ 日本古来の伝統文化の一大拠点としての役割を担いながら、新しい文化を創造する発信拠点を担う。老若男女が楽しめ、憩える森になって欲しい。
- ・ 観て、感じて、学べて、楽しめるような来訪者参加型の公園を目指して欲しい。
- ・ 遊びながら、楽しみながら、それでいて貴重な文化遺産や美術品を見ながら、買い物もできて、癒される空間がある。そんな上野公園を、実現して欲しい。
- ・ 古いものと新しいものの融合こそこれからの上野公園に必要なものである。
- ・ 全ての人々を満足させる公園を目指す結果として誰も満足させることができない中途半端なものになってしまう。多くを求めず、軸となる方針、将来像を持つべきである。
- ・ 現在は、動物園、施設、不忍池など別々に利用して、上野公園の一部として認識していない。公園全体を見直し、情報発信と公園環境を一元化して整備することで、上野公園そのものに行きたくなるのなら、この将来像は意味がある。
- ・ 色々な問題がクリアされれば、家族で一日のんびり楽しめる場所になりそうで楽しみである。今は各場所がばらばらなので、将来像の様に上野の森全体が一つになると、色々な興味もわきそうで良くなると思う。
- ・ 上野公園へ行けば東京都にいながら老若男女すべての人に自然・文化・動物にふれあえることが素晴らしい。
- ・ 東京都全体を考えた時、文化・芸術の発信地は上野公園だけではないはずである。上野公園の役割

とその他の地域の役割及びその必然性について、もう一步踏み込んだ理由付けと、それぞれの地域の将来像の明示が必要である。

- ・ ここで発信される「江戸の文化」が、懐古趣味的、保護主義的な感じがしてならない。そうでないことを強く希望する。
- ・ 地域の特性を生かし個性のある町にすべく、芸術と文化の森を主体に推進することに賛成である。ただ余りにトップレベルばかりを狙うのではなく、一般の人が楽しめるレベルにも留意して欲しい。
- ・ 今までの上野公園のイメージをもう一度なぞっているだけではないか。新鮮味の無い言葉が並んでいるというのが正直な感想である。
- ・ 限られた土地であるので、何かを切り捨てるか、縮小しなければ、芯のある公園とならないのではないか。
- ・ 理想のイメージとしては、ワシントンDC。広くて、清潔感があって、無料で子どもが色々な芸術や博物館の展示物に近づいて見られる、上野公園もそんな場所になると嬉しい。

「文化の森」の創造に向けた施策

世界に向けた『文化』の発信強化

- ・ 世界的に見ても一つの公園に、これだけの文化施設が集積している例は珍しい。公園という環境に優れた立地を最大限活かした計画にして欲しい。
- ・ 共同事業体として、コンソーシアムの記述がありますが、上野公園全体を一つの組織とすることはできないか。美術館や博物館ではいろいろとすばらしい催しを開催しているが、組織をまとめればもっと、ダイナミックな企画ができるし、いつどこでどんな催しをしているのか情報も一元化できる。
- ・ コンソーシアムの実現を望む。上野公園の「管理者」として、公園利用をコントロールするための画期的な仕組みとなることを期待する。
- ・ 上野は美術館や博物館等すばらしい施設がたくさんありますが、それぞれ単体で全体としてのまとまりにかける。
- ・ 多くの博物館や美術館が集まっているのだから、各館で連携して、イベントをやるのは良いことである。加えて、共通券や割引券ができるとなお良い。
- ・ 「民間活力」を利用し、税金以外の方法で費用をまかなう方法を検討してはどうか。
- ・ 日本の高度な文化施設が集まり、華々しい歴史や緑にも恵まれている素晴らしい上野公園を世界に発信しないわけにはいかない。公園の広場や施設を使って世界の人々を集め、文化や歴史を紹介するイベントを開催し、また、国際会議を大々的に開催すべきである。世界から人が集まれば日本が身近になり更なる発展が期待できる。
- ・ 今回の文化の森としての整備に併せ、文化・芸術の祭典イベントを大々的に打ち上げ、新たなイメージの創出を図ることが、上野公園の魅力を高める最善の方法ではないか。
- ・ 美術館や博物館等の施設、東照宮等の歴史的施設、桜等の自然とすばらしい要素を持っているが、それらを十分に生かしていない。それらを有機的に再構築し、新しい「上野」というブランドを作り出してほしい。
- ・ 芸術と動物園と池と緑と歴史を後世の人々に残したい。散策のかたわらに、歴史を学べるようにしながら、保存・修復を続けていかなければいけない。もちろん、いわれ・歴史などの表示によりはじめての観光客がわかるようにしたい。
- ・ 「文化・芸術が溢れる」については、確かに集まっていますが、やや閉鎖的な感じがする。パリやロンドンのような文化・芸術に対する開放が必要ではないか。入場料が必要ない日や模写が出来ること、触れることなど考えて欲しい。
- ・ 公園利用者から多少の入場料を徴収し入場者管理をしたほうが良く、その代わり各施設の料金を抑

えるまたは無料化することを提案する。

魅力あるみどりと水の空間創出

- ・ 文化の森という表現があるが、言葉の示すソフトなイメージと違い、実際の上野の森は薄暗く、中に入っていきたいという気分にはならない。より明るい雰囲気の良い森にして欲しい。
- ・ 上野公園は全体的に古く暗い雰囲気、くつろぎのある公園というよりも、むしろ各文化施設への通路的なイメージがある。また、噴水裏は樹林が鬱蒼として暗い上に、テントなど多数あり、通ることをためらう怖さがあります。桜の名所でもあり、駅前という折角の良い立地なので、明るく、公園自体を楽しめるような場所になって欲しい。
- ・ 都心の中にあっても明るい樹林地や芝生広場などの公園的な空間をもっと創出して欲しい。
- ・ 豊かな緑も、放置すればジャングルと化しますが、人が木漏れ日の中を散策できるような整備されるなど、自然とは言え、あくまでも全体として調和の取れたコンセプトの上に創造したものでなければなりません。ここで初めて「魅力ある公園」としての存在価値が生まれ、都民が世界に誇る公園とすることができると考える。
- ・ 文化、芸術は現在でも溢れているが、個々の美術館などに行った後、帰途に憩えるベンチなどを設置した場所を増やして欲しい。
- ・ 広く美しい公園の内に文化施設が点在するとゆうイメージで、木陰での休息を楽しめるような美しいみどりと水の景観に重点をおいて欲しい。
- ・ 文化や芸術の香り高いパブリックスペースを目指しているにしては、ゴミの問題など猥雑なイメージを拭えない環境になっているのが残念である。
- ・ 大道芸人などのパフォーマンスは確かに面白く、客寄せとしても魅力的ですが、内容、規模等、野放しにならないような対策が必要である。
- ・ 広いはずの公園内だが、段差のある縁石で区切られた無味乾燥なコンクリートの道のみが歩行が許される空間のようで、人工的でとても狭く感じる。私の望む上野公園は、広々とした森、芝生の公園の中に文化施設や歴史建造物が点在し、公園と一体化した状況である。
- ・ 今の上野のイメージは展覧会や特別展に行くことはあっても「上野 = 文化の町」とは感じられない。文化発信地をスローガンにしている割に、浮浪者やいかげわしい店も表向き目につき、オシャレして歩きたい程の魅力を感じない。

花見

- ・ 春の桜の花見の人々の節操のなさもイメージを悪くしている。花見客に関してももう少し制限すべきである。
- ・ 花見客やゴミのマナー等について現代の人々の考えは甘すぎるようなところがあるので、そうしたことで公園の魅力が半減してしまうのはとても残念なことである。
- ・ お花見などの後のゴミについても処理方法を合わせて考えて欲しい。

防災

- ・ 上野公園は、災害時の避難場所であるとともに、世界的にもかけがえのない文化資産が多数集積していることから、防災、避難、文化財の保全に触れていないのは都民に不安を与えるのではないかと。

景観

- ・ 公園内の文化施設の柵や壁面などのデザインのコントロール(色や高さなど)を実施すべきである。
- ・ 各館が設置している企画展の宣伝看板が非常に見苦しい。
- ・ 10年ほど前、不忍池のほとりに突如として奇抜な姿のホテルが出現した。最近取り壊されてほっと一安心しているが、まちの景色は極めて公共性の高い存在です。あの愚を繰り返して欲しくない。

- ・ 街並み景観や質の良い文化価値のあるものに対し意識を高める政策をすべきである。
- ・ 上野地区全般に言えることですが、特に不忍池とその周辺は高層建築が目立つ。ビルに囲まれた不忍池など見たくない。東京都の強力な指導の下、建築物の高度規制を強力に押し進めて欲しい。
- ・ 不忍池周辺が公園内で最も魅力的なスポットだと思うが、遠望にはグロテスクなホテル、近くには奇妙な映画館あるいはホームレステントなどおよそ文化芸術とは遠く隔たったものが目につく。
- ・ 上野公園の「高台」を生かして、周囲への展望・景観をよくすること。景観の名所にすること。不忍池の「低地」を生かして、上野の山、森を際立たせて、アクセントをつけ、景観美を演出することを望む。
- ・ 目に見える位置にあるごみ置き場等は普通の公園より景観に対する意識が無いように見える。
- ・ 都心で数少ない「緑と水の景観」は、観光収入の源としても、とても大事な部分でもあると思うので、重視して行って欲しい。

快適な利用の推進

- ・ どうしても「建物の老朽化」「古い」「汚い」というイメージがぬぐい去れない。
- ・ 個々の素晴らしい催し物には、その都度参観しますが、終わると上野の山で雰囲気を楽しむ気分になれずに帰宅するケースがほとんどである。”今日は上野に行って良かった！”と言う全体的な満足感に欠け、物足りなさを常々感じている。全体的に統一された訴える雰囲気力の不足、サービス精神の欠落に起因すると思う。
- ・ 道順と合わせて各施設の開館と閉館時間や展示内容、入場料、込み具合のほか、公衆トイレや水飲み場、休憩所などの位置が公園の入口に一目でわかるような電光掲示板を設置して欲しい。
- ・ 公園内は広いので、動く歩道やエスカレーターなど歩行支援ができる設備を配置して欲しい。
- ・ トラックの進入禁止等文化の発信基地に相応しい統一された全体的に落ち着いた雰囲気の醸成が大切と考えます。
- ・ 公園内の車両の通行を極端に制限することも必要ではないかとも考える。

ホームレス

- ・ 世界的上野公園で、生活しなくても良い。公園は公共施設であり、皆のマナーがあってこそ成立する。ホームレスの方々に撤去してもらい別のところへ移動してもらいたい。
- ・ 公園内のホームレスの存在などにより、安心して歩くことができない。
- ・ 上野公園の暗さは鬱蒼としていることや圧倒的にホームレスが多いことに大きく起因している。
- ・ 上野公園をより良くするための一番大きい課題はホームレスの問題である。ブルーシートのテントとにおいて上野公園に対する魅力は半減してしまう。
- ・ 最近の上野公園はきれいになった、とくにテントハウスが少なくなり外国の友人にも紹介できるようになった。敬意を表したいです。
- ・ 上野公園に住んでいる人について考えないといけない。臭い・怖いイメージが先行していて、どのような将来像を描いても、よくなることは無い。
- ・ 衛生面からも安全面からもホームレスの自立支援をし、みんなの公園を住居とさせないよう処理することが不可欠である。
- ・ ホームレスが多いことは良くないことであるが、ホームレスを目のつかぬところに排除してしまうのでは、上野公園はさらに冷たい場所になるだけなので、ホームレスに対する福祉政策が、必要である。
- ・ 動物園や美術館、博物館、コンサートホールと魅力に尽きない地域ですが、ホームレスの存在は気になる。また公園の一部の場所は森が暗いという感じもする。明るく、しかも自然をいかした清潔感あふれる公園にして欲しい。

環境への配慮

- ・ 21世紀の課題として、環境問題は避けられない題材である。そこで、もう少し環境に対しての配慮の感じられる公園にして欲しい。
- ・ 「エコ」が取り上げられているので上野公園でも何かエコに繋がる大きな活動をしたらどうか。
- ・ エコロジーに気を使った公園になることを望む。
- ・ 上野の住民・商店が団結してエコに取り組む運動を行ってみてはどうか。ゴミゼロの街や、リサイクルの徹底、車の乗り入れ規制、など。

ユニバーサルデザイン

- ・ 日本の21世紀最大の課題は「高齢化社会」にどう対応するかである。上野公園整備についても年寄り・弱者に優しい公園を目指して欲しい。
- ・ これからの日本は高齢化を迎えるとともに世界の顔として紹介するのならば車椅子でもスムーズに訪れ、動き回れる施設や園路整備が必要である。
- ・ 文化施設に行く人は子どもからお年寄りまで様々である。その点で、「バリアフリー」は非常に重要である。車椅子の人が使用出来るトイレ、赤ちゃんのオムツ交換が出来るトイレ、授乳室、休憩所の設置が不可欠である。
- ・ 屋根がついた動く歩道のようなものがあると便利である。

飲食施設等

- ・ 公園のレストラン等はユニバーサルな店舗を導入して欲しい。
- ・ 現在ある飲食施設はメニューも雰囲気もあまりよくない。上野公園には、気の効いたカフェがない。
- ・ 食べ物屋や物販店については大幅に規制し、園内2箇所くらいにマーケットプレイスを作るなど集約し、その他の場所では出店も禁止するようにして欲しい。
- ・ 施設や店舗をもっと新しくして子どもたちも気軽に遊べるような清潔感のある公園になれば良い。今は大人の公園と言った雰囲気、子どもを自由に遊ばせたり、子どもと一緒に休憩や食事ができる場所が少ない。
- ・ ひとつひとつの施設は素晴らしいが、子ども連れでは食事に少々困る。カジュアルなレストランやカフェを増やして欲しい。
- ・ 上野公園を歩いていて思うのですが、シートをひいてお弁当を食べることができる場所が少ない。
- ・ 中にあるお店も古い感じなので、美味しいパンやコーヒーを提供するカフェを作ったらどうか。公園にその匂いが広がり、憩いの場が変わると思う。
- ・ 飲食施設の充実、なんと言っても楽しみは食べることである。現在の飲食施設はなにか田舎臭くて地方の小さな公園と変わらない。まずい、高い。観光客は一回来たらもうどうせもう来ないという考え方に思える。
- ・ 公園内にはお茶を飲むところが少ない。美術館内に食堂はあるのですがザワザワしていて60代の私にはとても入りづらい。鑑賞した絵や物の話などを友人とゆっくりと話をしたり、味わったりする場所が欲しい。
- ・ 飲食施設はメニュー・価格ともにヴァリエティに富むよう配慮して欲しい。
- ・ 公園内の飲食店は建替えて魅力あるものとするべきである。

上野公園の整備イメージ

竹の台広場の整備

- ・ 現在の噴水は、修景施設として中途半端な施設だと思う。多目的な利用に供することができ、「文化

の森」として相応しいデザインを期待する。

- ・ 上野公園には広場がないので、大きな広場を作るのは良い。噴水も魅力的だが、場所をとりすぎているので、もう少し小さくして、位置を変えるなどの工夫が必要ではないか。
- ・ 広場も良いが、是非とも噴水越しに東京国立博物館を見られるよう、その一部に噴水を残して欲しい。
- ・ 公園の広い広場は噴水の場所だけですが、噴水へ近づけられるような工夫も必要である。
- ・ せっかく緑豊かな環境に恵まれているロケーションにあるので、屋外すなわち公園自体の恵まれた自然環境を活用したオープンエアの文化的催しを増やして欲しい。
- ・ 動物園前の暗い樹林と、広いだけであまり活用されていない噴水周辺は、整備の効果が大きいと考える。
- ・ 木陰でコーヒータイムができる場所の提供。フランスのオープンカフェのような雰囲気での寛げる場所があれば良い。
- ・ 水辺がなくなってしまうのは少し寂しい気がする。
- ・ 噴水がなくなるのであれば惜しい気がするが、柵をなくし、近寄れるようにするのもいいと思う。
- ・ 上野公園の中心地であり、先ずはこの場所の整備を進めることで、上野公園全体のイメージを向上させることが出来ると思う。
- ・ 広々と屋外コンサートもできる広場を作るのもいいと思うが、噴水と上手く融合させることはできないか。
- ・ これまで飲食施設が不足していたと思う。公園と一体となる空間の創出と自由に利用できる飲食施設の拡充に期待している。
- ・ 国立博物館への眺望を重視して欲しい。

JR 公園口広場の整備

- ・ 公園口改札から出て、直ぐに信号で足を止められるのは興ざめです。公園口という名称に相応しい広場や道路の地下化の実現に期待する。動物園の正門まで軸線を通すことも必要である。
- ・ 電車で行くと JR 上野駅公園口の改札がいつも込み合っているので、駅前に広場ができることは大歓迎である。
- ・ 公園口改札をメイン園路の正面にもって来るべき。現在の位置は、文化会館の搬入口などが正面に見え、公園の入口にはふさわしくない。
- ・ 「文化の森」を謳うのであれば、まず上野駅の改札出てすぐの場所から改造しなければならない。上野公園の場合、JR の駅からすぐに公園に入ることが出来るというメリットがあるので、やはり公園までの誘導部分、「文化の森への入口」を魅力的にするとよい。
- ・ JR の改札を出た途端に信号があり、赤信号の場合は最悪である。雰囲気を壊している。是非、改札口を出たら、そこは既に公園内だったと言う感じにして欲しい。
- ・ 高齢化が進んでいる現在、階段や段差を無くし、無理なく公園に行かれるように整備されれば、行きやすいし、安全、安心が確保されると考える。
- ・ 公園口の横断歩道は危ない。道路の地下化により、歩行者の安全が高まると思う。
- ・ JR とも協議し、公園口改札の拡張と、イメージアップ（公園のデザインと調和が取れるように）を望む。
- ・ 公園の入口周辺に、乳幼児向けのトイレ、授乳施設などがあるとよい。
- ・ 露天商の存在は、あまりいい印象を与えない。ある程度、規制したほうがよい。
- ・ 各々が目的の場所に、迷わず行くことが出来るような、はっきりとした案内図を美しいデザインで作る事を望む。

清水堂周辺の整備

- ・ この地域はかつての江戸の賑わいを考える上で最も重要な場所の一つです。早急に歴史的建造物を周囲の景観と共に復元してほしい。
- ・ 歴史を感じられる風情、風景というのは何より大切に残していくことが重要である。
- ・ 歴史資源をわかりやすく紹介するのは良いと思うが、ライトアップなど電力や何かエネルギーを使うことはできるだけ避けるべきである。

桜ヶ丘周辺の整備

- ・ 世界に誇れる花見場所ができればよい。
- ・ 桜も寿命があるものですから、次世代をしっかりと見据えた取り組みを望む。
- ・ 桜ヶ丘周辺を、多品種のサクラの植栽等により桜の名所として復活させることは大いに賛成である。

不忍池の整備

- ・ 不忍池のハスを見てきたが、目当てのハスは少なく葉ばかりが目立っていた。蓮見茶屋と銘打つのであれば、ハスの花がたくさん見られるようにしてほしい。池の水もあまり綺麗には見えない。ぜひとも改善してほしい。
- ・ 江戸の文化を感じられる場所というのは、とてもよい。当時の食べ物を食べたり、着物などを着られるような場所があるのであれば、行ってみたい。
- ・ 海外の方にも池畔での茶屋が体験できるような、江戸時代の茶屋の復元を望む。
- ・ 江戸時代ころの池畔や、風景を復元できたらよいと考える。今は、あまりにもコンクリートで固められた場所という感じで、あたたかみに欠ける。
- ・ 池畔の整備には、水鳥の生育環境の保全に十分考慮した上で、開けた視界の明るい公園の空間に変貌させて欲しい。
- ・ 上野公園と不忍池周辺が分断されてしまっている。不忍池周辺は、魅力が少ない。水辺という素晴らしい環境があるだけに、目玉になる施設が必要である。

その他

- ・ 動物園内のモノレールを園内交通として活用するために、上野駅公園口と池之端（千代田線湯島）できれば国立博物館方向へ迂回して 延伸してはどうか
- ・ 野球場は上野公園にふさわしくない。
- ・ 「文化の森」を象徴するキャラクターを考案してみてもどうか。